

介護・障害事業所向け
BCP作成支援ソフト



B作



BCP作成システム「B作」とは

【介護セミナー第一人者の小濱 通博氏による完全監修】



小濱介護経営事務所
代表 小濱道博

日本全国対応で介護経営支援を手がける。介護事業経営セミナーの講師実績は、北海道から沖縄まで全国で年間250件以上。昨年も延20000人以上の介護事業者を動員。BCPコンサルティングは延べ250社以上を支援。BCPコンサルティングの第一人者。



株式会社ベストワン
代表取締役 小林香織

BCPコンサルティングは、全国の介護施設での指導実績多数。心理学を用いたストレス対策、メンタルヘルスに関する講演を主に介護施設、事業所を対象に行っている。自社主催セミナーも月一回のペースで開催する。コロナ禍対策で職員のメンタルケアが急務な中で、介護施設の個別研修、指導を行う。

小濱氏はBCP支援実績300事業所以上。現在も毎月BCPのセミナーを10本以上行っています。

小林氏は自ら障害事業所を運営しながらBCPの作成支援コンサルティングをしております。

すべての介護・障害施設、事業所のBCPがB作で作成することができます！

介護・障害事業所向け
BCP作成支援ソフト  **B作**



BCP作成システム「B作」の特徴

【特徴 B作はブラウザでログインしてご利用できます。】

<https://bcp.be-saku.com/login>

ID
10000※※※※※

パスワード
.....

[パスワードを忘れた場合はこちら](#)

ログイン

インターネット環境があればどこからでもログインしてBCPを作成することができます。ログイン情報はご利用料をお支払い後にメールにてお知らせしております。

介護・障害事業所向け
BCP作成支援ソフト





BCP作成システム「B作」の特徴 - 1

【特徴 - 1 基本的にB作の設問に順番に答えるだけでBCPが完成します】

自然災害BCP 回答済を非表示

1章. 総論

No.	中項目名	回答状況
1	基本方針	回答済 / 回答する
2	推進体制	未回答 / 回答する
3	リスクの把握	回答済 / 回答する
4	優先業務の選定	回答済 / 回答する
5	優先業務の選定2	回答済 / 回答する
6	研修・訓練の実施	回答済 / 回答する
7	BCPの検証・見直し	回答済 / 回答する

2章. 平常時の対応

No.	中項目名	回答状況
8	建物・設備の安全対策	回答済 / 回答する
9	電気が止まった場合の対策	回答済 / 回答する

介護・障害事業所向け
BCP作成支援ソフト





BCP作成システム「B作」の特徴 - 2

【特徴 - 2 設問ごとに回答例があります悩まず作成できます】

① 飲料水

ポイント!

飲料用としての水は1人1日最低2リットル必要と言われています。
飲料用の水の備蓄はとても大切なことです。なるべく水を使わない調理法を検討したり
いざという時のための飲料水の確保を検討しておきましょう。

(Q) 選択肢より1つ以上文例を選んでお答えください(複数選択可)。選択肢に適切な文章がない場合は空白に文章を記入してください。

設問 飲料の確保 ※【】に数字を入れてください。例文が適切な文章でない場合は入力欄に文章を記入してください。

直接入力欄
2リットルペットボトル【20】本（【4】日分×【5】人分）を確保する

設問 食事のための飲料確保

非常食やアルファ米のために必要



BCP作成システム「B作」の特徴 - 3

【特徴 - 3 本文はBCPに必要な文言が記載されています】

BCPの検証・見直し

ポイント!

BCPは1年に1回以上検証・見直しが必要になります。BCP訓練や研修の翌月にBCP委員会を開催し見直しをするのが理想となります。

本文

- ・毎年実施する研修及び訓練の度に参加者にアンケートなどを実施して課題、反省点等を洗い出し、災害対策検討委員会において協議し、必要に応じて本計画を見直すこととする。
- ・計画を見直した場合は、速やかに従業員に周知し、その後の研修や訓練に反映することとする。BCM（事業継続マネジメント）を廻していく。

●以下の活動を定期的に行い、BCPを見直す。

毎年 [4, 9]月にBCP委員会で研修・訓練結果を検証する。

- ・BCPに関連した最新の動向を把握し、BCPを見直す。
- ・教育を通じて得た疑問点や改善すべき点についてBCPを見直す。
- ・訓練の実施により判明した新たな課題と、その解決策をBCPに反映させる。

設定 時期(1月～12月まで2つ選択)

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

介護・障害事業所向け
BCP作成支援ソフト





BCP作成システム「B作」の特徴

【特徴 小林氏による解説動画やポイントを読みながら回答していきます】

2章.平常時の対応

通信が麻痺した場合の対策



ポイント!

自然災害により、通信が麻痺した場合のBCPを作成します。下記の表は被災した際に通信が可能な携帯電話、パソコン、PHSなどを確認し、入力してください。
通信機器により調べることに時間がかかる場合は、まずは現在事業所や施設で使用している通信機器を記載し、詳細が分かり次第随時修正してください。
なおバッテリー容量は充電が100%の場合、充電できない状況でどれくらい使えるかを記載してください。

介護・障害事業所向け
BCP作成支援ソフト





BCP作成システム「B作」の特徴

【特徴 各BCP(自然災害・感染症)が回答済みになるとWordに出力することができます印刷することができます】

No.	中項目名	回答状況
27	連携体制の構築	回答済
28	連携対応	回答済
5章. 地域との連携		
No.	中項目名	回答状況
29	被災時の職員の派遣	回答済
30	福祉避難所の運営	回答済
6章. 通所サービス固有事項		
No.	中項目名	回答状況
31	通所サービス固有事項	回答済

自然災害 Word出力

介護・障害事業所向け
BCP作成支援ソフト





BCP作成システム「B作」の特徴

【特徴 Wordをダウンロードすることにでき、完成したBCPを簡単に修正見直しすることができます】

自然災害発生時における業務継続計画 (サンプル)

法人名	北斗パートナーズ株式会社
事業所名	デイサービスB作
法人代表者名	代表取締役 松長根 幸治
管理者名	管理者 小林 香織
所在地	東京都江戸川区平井 4-9-9 板垣ビル 2階
電話番号	03-5875-1921
初回作成日	2023年3月23日

目次

1. 総論 1

(1) 基本方針 1

(2) 推進体制 1

(3) リスクの把握 2

① ハザードマップなどの確認 2

② 被災想定 2

参考 2

(4) 優先業務の選定 2

(5) 優先する業務 3

(5) 研修・訓練の実施、BCPの検証・見直し 3

① 研修・訓練の実施 3

② BCPの検証・見直し 4

2. 平常時の対応 4

(1) 建物・設備の安全対策 4

① 人が滞在する場所の耐震措置 4

② 設備の耐震措置 4

③ 水害対策 5

(2) 電気が止まった場合の対策 5

(3) ガスが止まった場合の対策 5

(4) 水道が止まった場合の対策 6

① 飲料水 6

② 生活用水 6

(5) 通信が麻痺した場合の対策 6

(5) システムが停止した場合の対策 8

(7) 衛生面(トイレ等)の対策 9

① トイレ対策 9

② 汚物対策 9

(8) 必要品の備蓄 10

(9) 資金手当て 14

3. 緊急時の対応 15

(1) BCP発動基準 15

(2) 行動基準 15

(3) 対応体制 16

対応体制や各班の役割を明示する。 16

(4) 対応拠点 16

(5) 安否確認 16

① 利用者の安否確認 16

② 職員の安否確認 17

(6) 職員の参集基準 17

(7) 事業所内外での避難場所・避難方法 18

(8) 重要業務の継続 18

(9) 職員の管理 18

③ 休憩・宿泊場所 18

④ 勤務シフト 19

(10) 復旧対応 19

⑤ 被災現場の検証 19

⑥ 業者連絡先一覧の整備 19

⑦ 情報発信(関係機関、地域、マスコミ等)への説明・公表・取材対応 19

4. 他施設との連携 19

(1) 連携体制の確立 19

① 連携先との協議 19

② 連携協定書の締結 20

③ 地域のネットワーク等の構築・参画 20

(2) 連携対応 20

① 事前準備 20

② 利用者情報の整理 21

③ 共同訓練 21

5. 地域との連携 21

(1) 被災時の職員の派遣 21

6. 通所サービス固有事項 21

1. 総論

(1) 基本方針

本計画は、災害発生時、物(什物等)利用できる環境(避難場所)が確保できず、本事業所関係者(利用者)が被災し、被害を受けた場合、迅速に避難し、被害を最小限に抑えること、また、業務の継続(業務の再開)を最優先とし、業務の再開に必要な業務の確保を最優先とする。以下に、本事業所の業務継続計画の目的、業務継続計画の目的、業務継続計画の目的を定める。

① 利用者の安全確保

利用者の安全確保が最優先であり、被災発生時に発生する被害を最小限に抑えること、また、被災発生時の安全確保を最優先とする。

② サービスの継続

利用者の生命・身体・健康を守るために、被災発生時に発生する被害を最小限に抑えること、また、被災発生時のサービスの継続を最優先とする。

③ 職員の安全確保

職員の安全確保が最優先であり、被災発生時に発生する被害を最小限に抑えること、また、被災発生時の職員の安全確保を最優先とする。

④ 地域との協力

地域との連携・協力を最優先とし、被災発生時に発生する被害を最小限に抑えること、また、被災発生時の地域との協力を最優先とする。

⑤ 近隣住民・関係機関との連携

近隣住民・関係機関との連携を最優先とし、被災発生時に発生する被害を最小限に抑えること、また、被災発生時の近隣住民・関係機関との連携を最優先とする。

⑥ 被災発生時の業務の再開

被災発生時の業務の再開を最優先とし、被災発生時に発生する被害を最小限に抑えること、また、被災発生時の業務の再開を最優先とする。

⑦ 平常時の訓練・研修の実施

平常時の訓練・研修の実施を最優先とし、被災発生時に発生する被害を最小限に抑えること、また、被災発生時の訓練・研修の実施を最優先とする。

2. 推進体制

1. 本事業所に「BCP委員会」を設置する。

2. 委員会は、下記の業務を行う。

(1) BCP委員会の業務

① BCP委員会の業務

② BCP委員会の業務

③ BCP委員会の業務

3. BCP委員会のメンバーは以下のとおりとする。

主な役割	部署・役職	氏名	補足
委員長	管理者	テスト	
副委員長	生活相談員	テスト	
委員	介護職員	テスト	



BCP作成システム「B作」の特徴

【完成後のWord出力 サンプル】

(3) リスクの把握

① ハザードマップなどの確認
別紙「ハザードマップ」を参照

② 被災想定

【自治体公表の被災想定】

<交通被害>

道路：3～7日で復旧（迂回路が利用できる想定）
橋梁：迂回路を含め、3～7日で復旧
鉄道：1か月

<ライフライン>

上水：3週間（高度7）
下水：3週間（高度7）
電気：3週間（高度7）
ガス：3週間（高度7）
通信：1週間（線路の被害がない想定）（高度7）

参考：
東日本大震災の被災率として高度7の地域の日別被害は、下記の通り。
高度7の場合、電力：1週間、水道：3週間、ガス：6週間、鉄道復旧（リスクを軽減した状態）
高度7の場合、電力：3日、水道：1週間、ガス：3週間、5000日
高度0の場合、高度7の5000日をも、復旧の日数と想定する

【自事業所で想定される影響】
資料1：自施設で想定される影響を参照

(4) 優先業務の決定

<優先する事業>

(1) 訪問介護は、地域に於いて在宅で介護を受ける高齢者のライフラインとなるサービスである。被災時は、軽度者へのサービスを縮小し、重度で母居の利用者を中心に、可能な限りの介護サービスを提供する。被災直後は、介護施設の職員が極端に不足することを想定して、重度者担当以外のヘルパーは介護施設の職員に勤務をシフトして、職員不足に対応する。

(2) 訪問看護は、地域に於いて在宅で介護を受ける高齢者のライフラインとなるサービスである。被災時は、軽度者へのサービスを縮小し、重度で母居の利用者を中心に、可能な限りの介護サービスを提供する。被災直後は、介護施設の職員が極端に不足することを

想定して、重度者担当以外のヘルパーは介護施設の職員に勤務をシフトして、職員不足に対応する。

<当座停止する事業>

(1) 通所介護サービス

① 優先する業務
資料2：優先する業務を参照

(5) 研修・訓練の実施、BCPの検証・見直し

① 研修・訓練の実施
本館における 感染症の対応に基づき、研修・訓練を実施することとする。
施設内の巡回清掃・避難訓練の巡回の計画の内容に基づいて研修を実施する
在籍者1回以上実施する

●以下の教育を実施する。

(1) 入館時研修
・時期：入館時
・担当：管理者
・方法：BCPの概念や必要性、感染症に関する情報を説明する。

(2) BCP研修（全員を対象）
・時期：4月
・担当：管理者
・方法：BCPの概念や必要性、感染症に関する情報を説明する。

(3) 外部BCP研修（全員を対象）
・時期：4月
・担当：外部講師
・方法：外部のeラーニングを受講する
口業研修（BCP）の内容に沿った訓練（シミュレーション）

●以下の訓練（シミュレーション）を実施する。

・時期：3月、6月
・担当：管理者等
・方法：感染者の発生を想定し、BCPに基づき、役割分担、実施手順、人員の代替え、物資調達方法の確認などを訓練・机上訓練で確認する。

●BCPの検証・見直し

・毎年実施する研修・訓練の場でのアンケートなどを活用し、課題、反省等を洗い出し、災害対策本部会議において協議し、必要に応じて検証を実施することとする。
・計画を定直した後は、速やかに協議・検討し、その後の研修・訓練で反映することとする。BCM（事業継続マネジメント）を順に進め、

●以下の活動を定期的に行い、BCPを見直す。

毎年4月9日にBCP委員会で開催・訓練結果を検証する。
・BCPに関連した最新の動向を把握し、BCPを見直す。
・教育を通じて得た疑問点や改善すべき点についてBCPを見直す。
・訓練の実施により明らかになった新たな課題と、その解決策をBCPに反映させる。

2. 平常時の対応

(1) 建物・設備の安全対策

① 人が滞在する場所の耐震措置

場所	対応策	備考
	耐震構造での問題はない	

② 設備の耐震措置

対象	対応策	備考
窓ガラス	廊下、出入口のガラス飛散防止フィルムを貼付け	
事務所の什器	キャビネットは転倒防止のため壁に固定する	
食器棚	壁を補強して転倒防止のため壁に固定する。ガラス飛散防止フィルムの貼付け	
風呂場の棚	棚を壁に固定する	
風呂桶	床に固定する	
家具	家具の壁に固定する	
パソコン本体	机に固定する。重要なデータは、バックアップをとり、保管する	
ディスプレイ	机に固定する	
LPガス	LPガスボンベの固定を強化	

燃油タンク

対象	対応策	備考
施設周辺	側溝や排水溝は掃除	
逆流防止	風呂、トイレ等の排水溝からの逆流防止	
入口	土嚢を用意する	

③ 水害対策

対象	対応策	備考
燃油タンク	地面への固定アンカーの腐食があり、金具交換	

(2) 電気が止まった場合の対策

稼働させるべき設備	自家発電機もしくは代替策
喫煙吸引、人工呼吸器など	自家発電機、蓄電池
パソコン、テレビ、インターネットなど	自動車のバッテリーや電気自動車の電源を活用することも有用である。自動車のシガレットの交換器
冷蔵庫・冷凍庫、夏場は暑さ対策として保冷剤等を用意	電気なしでも使える代替品(乾電池や手動で稼働するもの)の準備や業務の方策を検討する。クーラーボックスに保冷剤などで対応
照明器具、冷暖房器具	乾電池：単一20本、単二20本、単三20本、単四20本。濡たんば、毛布、使い捨てカイロ、火油ストーブ
その他、代替の電源を考える	自動車のバッテリーや電気自動車の電源を活用することも有用である。自動車のシガレットの交換器
テスト	テスト

(3) ガスが止まった場合の対策

稼働させるべき設備	代替策
調理器具	カセットコンロ、ホットプレート、LPガスボンベ+五徳コンロを備蓄する。ガス業者等からのレンタルの可否の確認テスト
給湯設備	入浴は中止し、清拭テスト
その他、代替の熱源を考える	都市ガスをLPガスに替えるテスト
テスト	テスト



BCP作成システム「B作」の特徴

BCPは厚生労働省が必要な資料を提示しております。
B作では厚生労働省が提示している添付資料をダウンロードできるようになって
おります。

特に自然災害は施設向けの資料となっておりますので各サービス(在宅系)に合
わせたサンプル資料をご提供しております。

ポイント!

下記のエクセルをダウンロードし入力・印刷してBCPに添付してください。
貴事業所で行っていない業務についてはエクセル内で削除、修正等をしてください。
事業所の業務を重要度に応じて4段階に分類し、出勤状況を踏まえ縮小・休止を検討してください。
利用者の健康・身体・生命を守る機能を優先的に維持しましょう。(出勤率をイメージしながら作成。)

設問 優先する業務一覧表

資料2：優先する業務.xlsx

資料を用意しました

資料2-災害：業務分類（優先業務の選定）（災害用）

※：電気の復旧が3日は断電6の想定、断電7では7日に復旧の想定

分類名称	定義	業務例	出勤率			
			30%(断電後6時間)	50%(断電後3日)	70%(断電後7日)	90%(21日)
業務の基本方針						
			生命・安全を守るために必要最低限のサービスを提供（徒歩で出勤可能者で対応） 断電後数日、職員は施設泊	食事、排泄を中心 その他は休止または減電 電気復旧(%)、運務依拠日、被災者出勤不可	一部休止するがほぼ通常通り 応接者の支援あり	ほぼ通常通り 水退後、ガス引込の想定
A:継続業務	・優先的に継続する業務 ・通常と同様に継続すべき業務	食事、排泄、医療的ケア、清拭 等	食事(災害時メニュー、朝夕のみ)排泄(オムツを利用)医療的ケア(必要最低限)	食事(災害時メニュー、簡易食品)排泄(ほぼ通常通り)医療的ケア(ほぼ通常通り)清拭	食事(ほぼ通常通り)排泄(ほぼ通常通り)医療的ケア(ほぼ通常通り)清拭	食事(通常のメニュー)排泄(ほぼ通常通り)清拭
B:追加業務	・災害復旧、事業継続の観点から新たに発生する業務	【インフラ対策】 電気用燃料確保、発電機の点検 飲料水、生活用水の確保 ガスの調達 その他物資の調達、修理の依頼 【人員対策】 出勤者の確保、シフト調整 施設内、法人内応援者の手配 行政、関連団体等への情報提供 給食、清掃、洗濯業務の見直し	電気用燃料確保、発電機の点検 飲料水、生活用水の確保 ガスの調達 その他物資の調達、修理の依頼 出勤者の確保、シフト調整 施設内、法人内応援者の手配 行政、関連団体等への情報提供 給食、清掃、洗濯業務の見直し	飲料水、生活用水の確保 ガスの調達 その他物資の調達、修理の依頼 応接者の受入、教育 法人内の安全変更 行政、関連団体等への情報提供 給食、清掃、洗濯業務の見直し	飲料水、生活用水の確保 ガスの調達 その他物資の調達、修理の依頼 職員の数値に合わせた応接者の縮小 法人内の安全変更 行政、関連団体等への情報提供 給食、清掃、洗濯業務の正常化	ガスの調達 その他物資の調達、修理の依頼 職員の数値に合わせた応接者の縮小 法人内の正常化 行政、関連団体等への情報提供 給食、清掃、洗濯業務の正常化
C:削減業務	・規模、頻度を減らすことが可能な業務	入浴、機能訓練(口ケア)洗濯、掃除 等	入浴(休止) 機能訓練(休止) 必要時に、うがい 洗濯(休止) 洗濯(休止)、チャイボスーツで対応 清拭(感染対策のみ)	入浴(休止)、運営形式 機能訓練(待機・待機予防) 必要時に、うがい 洗濯(必要時に清拭) 洗濯(必要最低限) 清拭(感染対策のみ)	入浴(休止)、運営形式 機能訓練(待機・待機予防) 必要時に、うがい 洗濯(必要時に清拭) 洗濯(必要最低限) 清拭(感染対策のみ)	入浴(ほぼ通常通り) 機能訓練(ほぼ通常通り) 口ケア(ほぼ通常通り) 洗濯(ほぼ通常通り) 洗濯(ほぼ通常通り) 清拭(ほぼ通常通り)
D:休止業務	・上記以外の業務		以下の休止 ・事務管理業務 ・研修、教育、各種委員会活動 ・レクリエーション ・利用者によって行う行政機関等への手続 ・利用者とその家族の交流 ・利用者の外出の機会	以下の休止 ・事務管理業務 ・研修、教育、各種委員会活動 ・レクリエーション ・利用者によって行う行政機関等への手続 ・利用者とその家族の交流 ・利用者の外出の機会	以下の縮小(実施回数制限) ・事務管理業務 ・研修、教育、各種委員会活動 ・レクリエーション ・利用者によって行う行政機関等への手続 ・利用者とその家族の交流 ・利用者の外出の機会	以下の縮小(実施回数制限) ・事務管理業務 ・研修、教育、各種委員会活動 ・レクリエーション ・利用者によって行う行政機関等への手続 ・利用者とその家族の交流 ・利用者の外出の機会

資料2-災害：業務分類（優先業務の選定）（災害用）



BCP作成システム「B作」の特徴【注意点】

【注意点 :B作は事業所ごとのお申込みが必要となります】

BCPは**通所サービス・訪問サービス・居宅介護・施設系**によりBCPの内容が**異なります**。特に自然災害などは同じサービスでもあっても地域により被災想定が異なったり、職員の人数によっても内容が変わるため事業所ごとのBCP作成が義務付けられております。

システム管理上、お申込み時は1事業所ごとのお申込みが必要となります。お手数をおかけし申し訳ございませんご協力のほどよろしくお願いいたします。

介護と障害の訪問サービスは内容が異なるため別々のお申込みをお勧めいたします。

介護・障害事業所向け
BCP作成支援ソフト





BCP作成システム「B作」の料金表

【自然災害BCP・感染症BCP 2つBCPが下記の料金で作成できます】

プラン	内容	料金（税別）	特記事項
基本プラン （在宅系）	B作システムを使用して貴事業所にてBCPを作成	1事業所 35,000円	まだBCPを作っていない法人様にお勧めです。自然災害BCP・感染症BCPを2つとも作成することができます。値段を抑えBCPを簡単に作成することができます。通常3日～1週間程度でBCPを作成することができます。
入力代行プラン （在宅系）	お客様にヒアリングを行い、弊社でB作への入力代行を行い、BCPを完成させます。	1事業所 65,000円	なかなかBCP作成に着手またはB作での入力をする時間がないお客様向けのプランとなります。メールにてヒアリングさせていただき、BCPを作成いたします。完成後はWord等のデータにて納品させていただきますので、内容のご確認をお願いいたします。ヒアリングをしてから1か月前後でBCPが完成いたします。令和6年3月31日までに間に合わせるプランもございますのでお問い合わせください。
基本プラン （入所系）	B作システムを使用して貴施設にてBCPを作成	1施設 75,000円	入所系の介護・障害施設向けBCPをB作にて作成することができます。一部は貴施設にて作成していただく項目もございますが、ほぼB作で入所系BCPが作成できます。ポイントを読んでいただければすべてのBCPを作成することができます。通常3日～1週間程度でBCPを作成することができます。
入力代行プラン （入所系）	お客様にヒアリングを行い、弊社でB作への入力代行を行い、BCPを完成させます。	1施設 150,000円	なかなかBCP作成に着手またはB作での入力をする時間がないお客様向けのプランとなります。メールにてヒアリングさせていただき、弊社にてBCPを作成いたします。施設系は量が多いためヒアリング項目が多くなりますので納品まで1か月半前後完成までお時間をいただきます。完成後はWord等のデータにて納品させていただきますので、内容のご確認をお願いいたします。令和6年3月31日までに間に合わせるプランもございますのでお問い合わせください。
コンサルプラン （ZOOM対応）	入所型や在宅型BCPをZOOMコンサルによる作成（1日でコンサルが完了します）	1施設 160,000円 ～	在宅系サービスと入所系サービスをまとめて作成したい場合や、複数の施設を短期間でまとめて作成したい場合にお勧めのプランです。コンサルティングによりBCPへの理解度が格段にアップできます。在宅サービス1事業所追加に付き35,000円（税別）、入所系サービス1施設追加に付き75,000円（税別）の追加料金をコンサルティングを受けながらBCPを作成することができます。基本はZOOMでのコンサルティングになりますが、首都圏の場合は訪問にてコンサルすることも可能です。遠方での訪問の場合は別途交通費がかかります。

B作は月額制ではなく1回料金をお支払いいただければご利用できます！
上記以外の料金は一切かかりません。

介護・障害事業所向け
BCP作成支援ソフト





BCP作成システム「B作」の料金表

【基本プランと入力代行プランの違いについて】

基本プランとは

基本プランは貴法人にてウェブ上でB作に直接入力し、BCPを完成させます。
3～5日程度で作成することができます。

【メリット】費用を抑えてBCPを完成させることができます

入力代行プランとは

弊社にてB作に入力代行をいたします。貴法人にヒアリングシートを送付させていただき(30～40項目)をご記入の上ご返信いただければBCPが完成いたします。
資料も弊社にてすべて入力、準備させていただきます。
ヒアリングシートは2～3時間程度でご入力できます。

【メリット】ヒアリングシートさえご入力いただければBCPが完成します

介護・障害事業所向け
BCP作成支援ソフト





「B作」コンサルプランの特徴

下記のような状況、ご要望があればコンサルプランがお勧めです！

1. 複数の事業所・施設のBCPを作りたい
2. BCPを作るだけでなくBCP自体の理解を職員にしてほしい
3. BCP作成を各現場に任せておいてもなかなか進まない 等々

【コンサルプランの特徴】

コンサルプランはZOOMで各事業所や施設を繋ぎ、B作を画面共有しながらコンサルティングを行います。ただ話を聞くだけではなく、オンタイムで解説を聞きながらBCPを作成していくため、わからないところを聞きながらBCPを作成することができます。

午前中 2～3時間、午後 2～3時間の一日でBCPを完成することができます。

【コンサルプランのメリット】

2事業所(施設)以降は特別料金にてB作を利用することができます。

在宅サービス1事業所追加に付き35,000円(税抜)、入所系サービス1施設追加に付き75,000円

(税抜)

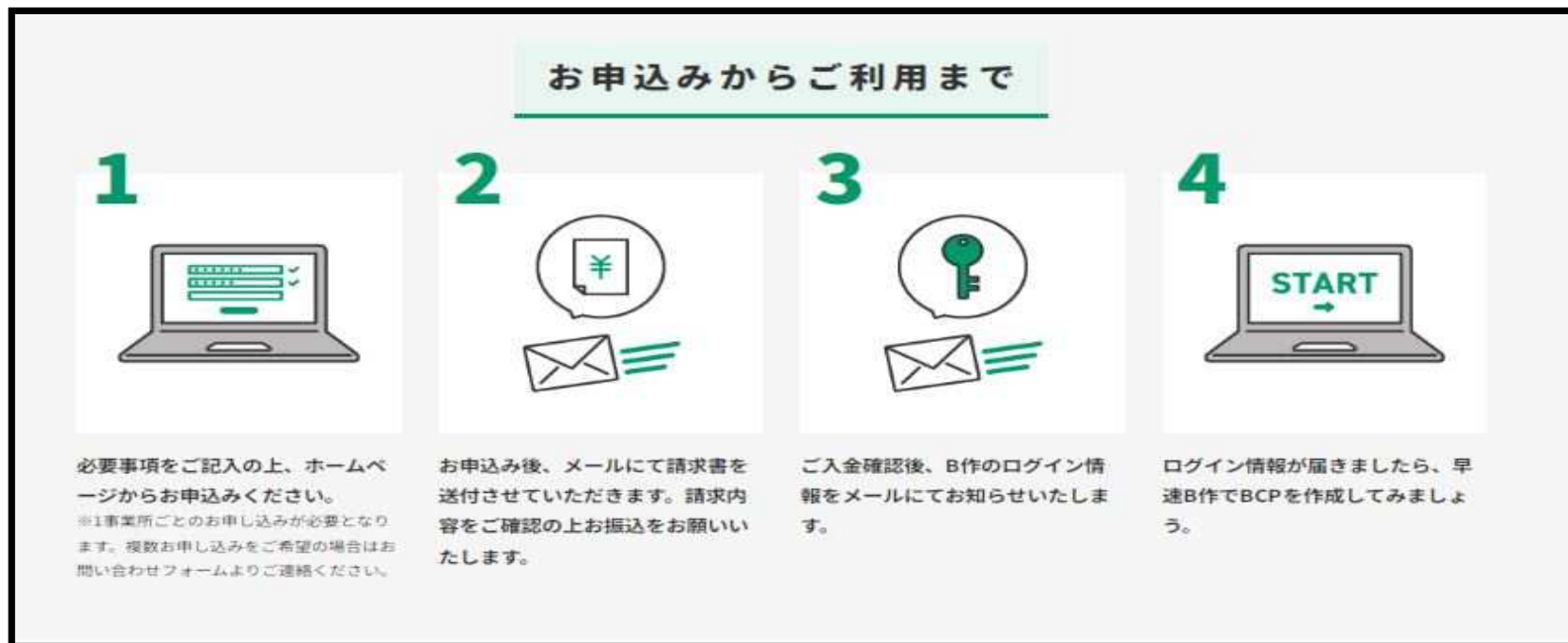
介護・障害事業所向け
BCP作成支援ソフト





BCP作成システム「B作」のお申込み方法

【B作ホームページのお申込みフォームよりお申込みができます】



B作ホームページURL: <https://be-saku.com/>

BCP B作



介護・障害事業所向け
BCP作成支援ソフト

